

1. 安全安心な構造体を実現します

上部構造

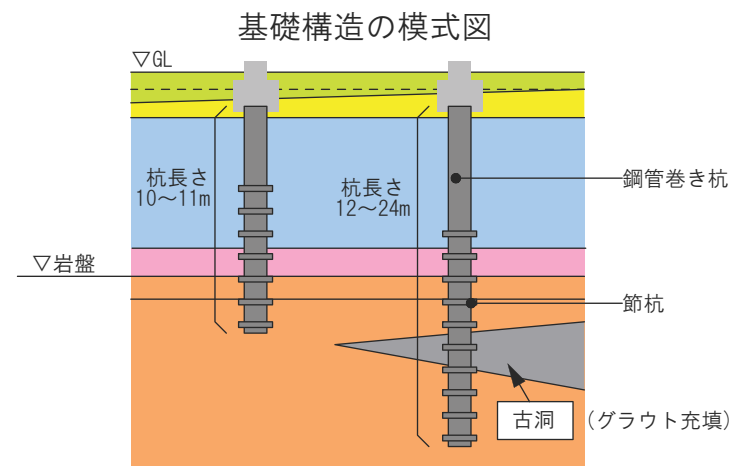
大地震後も建物を安全に利用可能な耐震性能を確保します

安全係数	人命確保	大地震後の構造体	
I=1.0	◎	△	建築基準法に準拠した耐震性能を有する建物
			転倒+部分崩壊等の大きな障害はなし

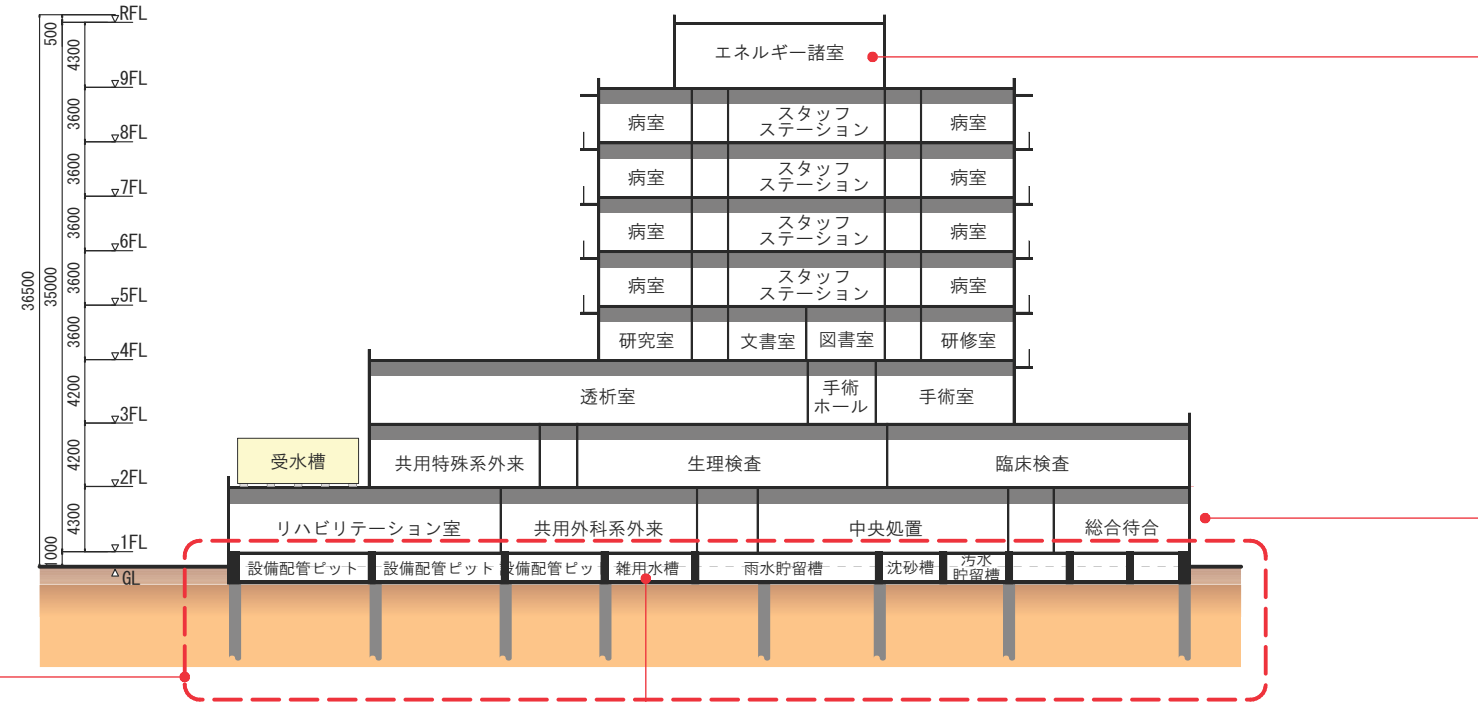
I=1.25	◎	○	大きな補修を必要としない	※今回採用
--------	---	---	--------------	-------

下部構造

建物重量を確実に支持地盤に伝達します



- 全ての柱位置で調査ボーリングを行います。
- 調査ボーリングで古洞（石炭掘削跡）の存在が明らかになった範囲は、グラウト充填を施します。
- 杭支持力を向上する節杭とします。
- 杭耐力を向上する鋼管巻き杭とします。
- 杭先端は岩盤まで到達させます。岩盤下に古洞がある場合は、古洞の下の岩盤まで杭を到達させます。
- 杭の施工は大臣認定を取得した高耐力のHyper-MEGA工法を採用し、環境性にも配慮します。



2. 災害時にもライフラインを確保します

<上水>

- 節約利用で1日分(透析用水を含む)のバックアップ可能な容量の受水槽
- 給水ポンプの非常用発電機対応

<雑用水>

- 節約利用で6日分の雑用水に使用可能な容量の雨水貯留槽・雑用水槽

<排水>

- 節約利用で6日分の貯留が可能な容量の災害時汚水貯留槽

<電源>

- 500KVA定格運転で約15時間の運転が可能な非常用発電機
- 災害時運転モードの運用による省運転で25時間に延長可能
- ガスコージェネレーションシステムと非常用発電機の併用による電源の多重化

3. 津波、高潮にも万全の対策を行います

- 海拔1.2mの地盤高さより、さらに建物1階床面を1m高くします。
- 電気室などのエネルギー諸室は、最上部に配置します。
- 電気室からの電源系統を1階部分は単独系統とすることにより、1階部分冠水時にも2階以上の階には電源供給が行えます。
- 受水槽を2階屋上に設け、1階部分冠水時にも上水を供給可能です。